

議題 2 名古屋圏のアクセスバスについて

名古屋方面へのアクセスに関する市民アンケート

■調査目的 : 現在の名古屋への移動状況、アクセスバス導入に対する希望や意見を把握
 ■調査対象 : 15歳以上の海津市民 2,000人 (海津市住民基本台帳から無作為抽出)
 1通につき調査票を2枚封入し、世帯で最大2名が回答
 ■調査方法 : 郵送配布 (令和4年11月25日(金)発送) ・ 郵送回収 (12月16日(金)締切)
 ■目標回答数 : 900票
 ■有効回答数 : 935票 (海津町 348票, 平田町 191票, 南濃町 356票, 居住地不明 40票)

※割合は1%単位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

問1 : 現状の名古屋方面への移動状況

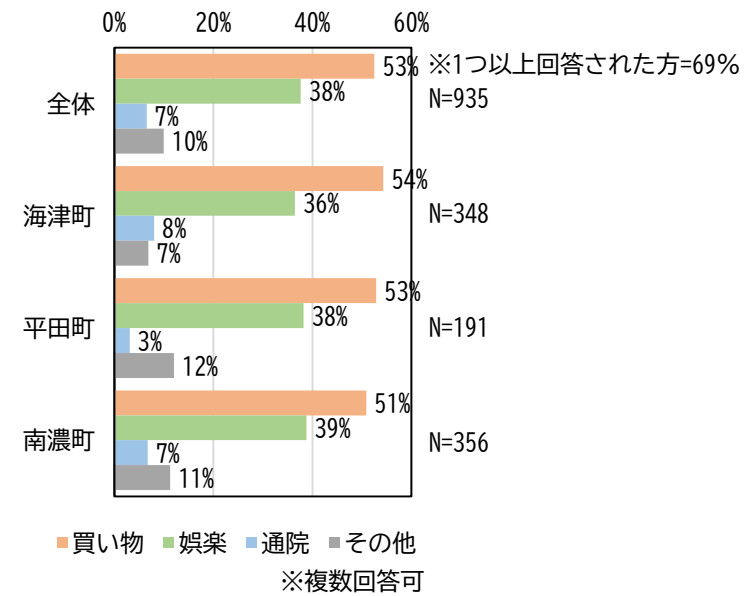
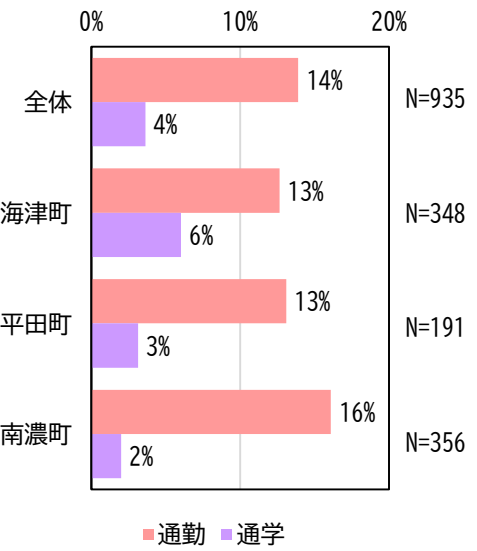
(1) 現状の名古屋方面への外出目的

通勤・通学目的

・名古屋方面に**通勤**している人は**14%**、**通学**している人は**4%**であり、あわせて18%の人が名古屋方面に通勤・通学している。

自由目的(買い物・娯楽・通院等)

・通勤・通学以外の目的で年に1回以上名古屋方面へ外出している人は69%。
 ・目的別にみると、**買い物目的が53%**・**娯楽目的が38%**と多くなっている。



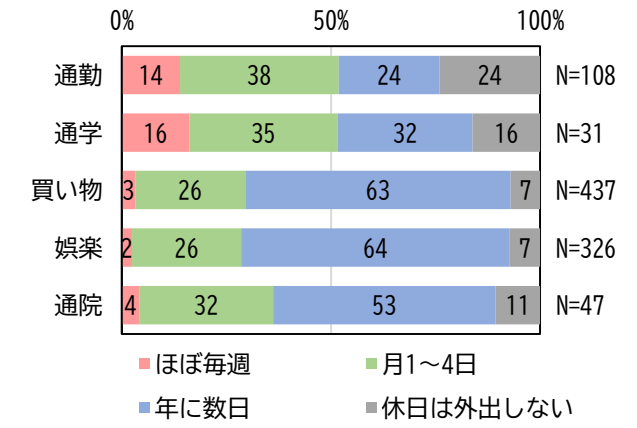
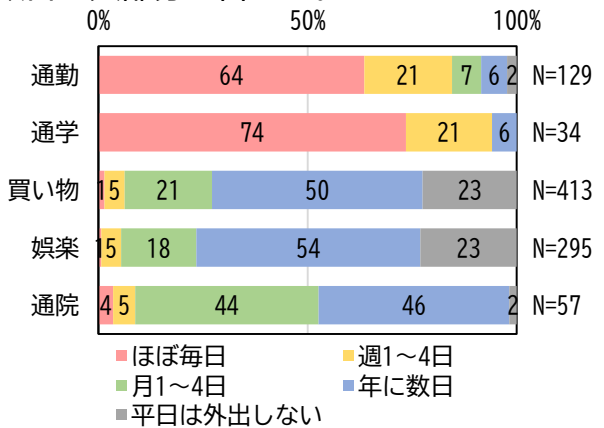
(2) 現状の名古屋方面への外出頻度

平日

・通勤目的・通学目的はほぼ毎日が多い。
 ・自由目的(買い物・娯楽・通院)は、月数日～年数日が大部分を占める。

休日

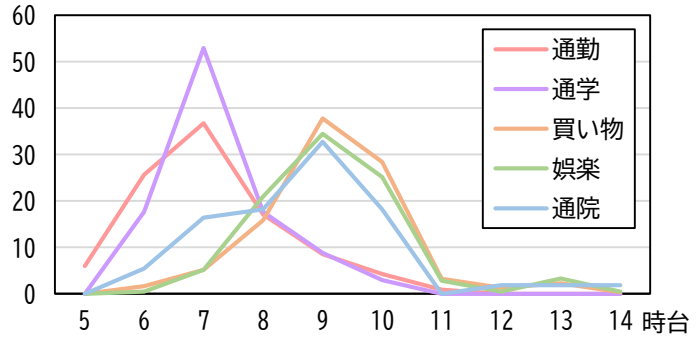
・平日と比較すると、通勤・通学目的は頻度が低く、自由目的は、頻度が高くなっている。



(3) 現状の名古屋方面への外出時間帯

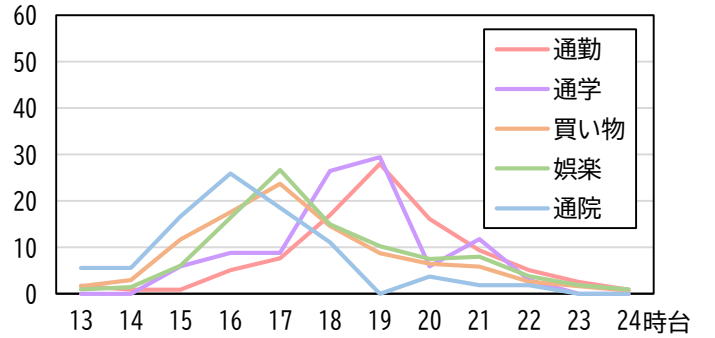
平日・行き

・通勤・通学は**7時台がピーク**で6~8時台に集中、自由目的(買い物・娯楽・通院)は**9時台がピーク**で8~10時台に集中している。



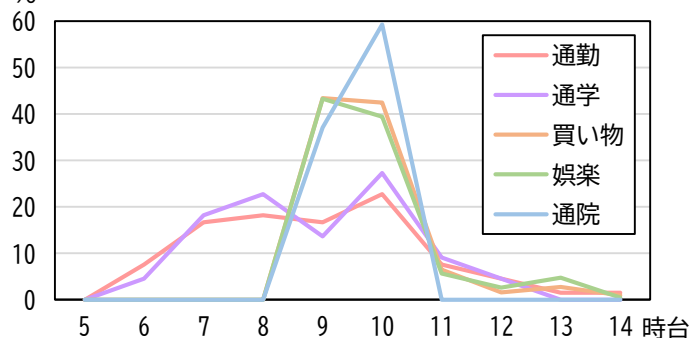
平日・帰り

・行きに比べ広い時間帯に分散しており、自由目的は**15~18時台**、通勤・通学は**17~20時台**に集中している。



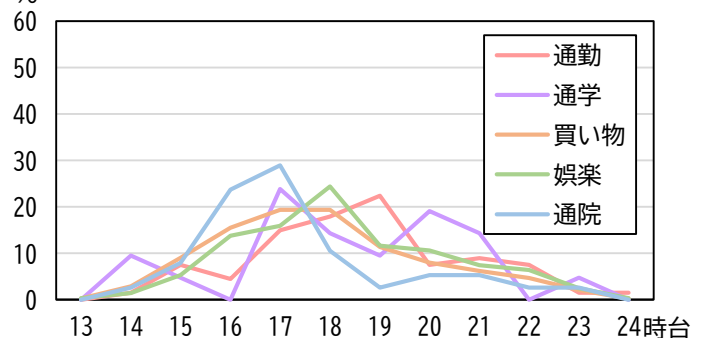
休日・行き

・通勤・通学は大きなピークはなく**7~10時台**が多く、自由目的は**9~10時台**に集中している。



休日・帰り

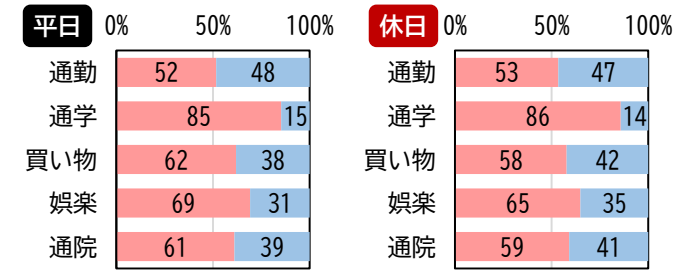
・各目的とも、15~20時台にかけて広い時間帯に分散している。



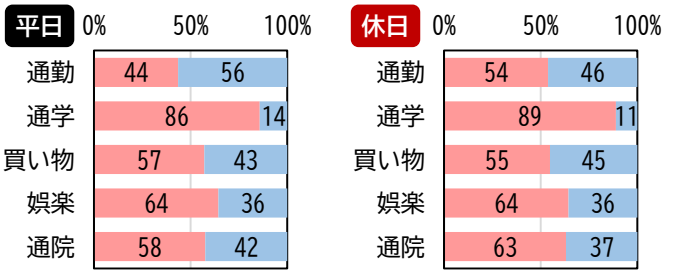
(4) 現状の公共交通利用の有無 (名古屋方面へ外出する際)

・平日(市全体)をみると、いずれの目的でも**半数以上は名古屋方面へ外出する際に公共交通を利用して**おり、特に通学は公共交通利用の割合が**85%**と高くなっている。
 ・地区別に公共交通利用の割合をみると、海津町は通勤での利用が低く、平田町は全体的に高め、南濃町は通学での利用が低い傾向にある。
 ・曜日(平日・休日)による大きな傾向の違いはみられなかった。

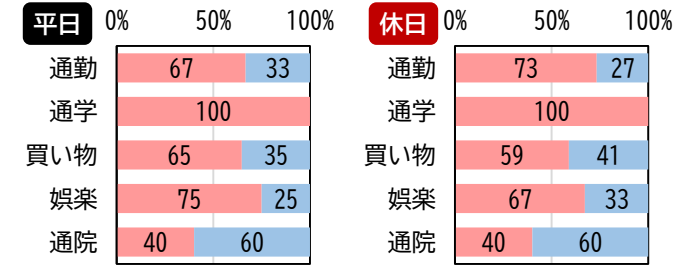
市全体



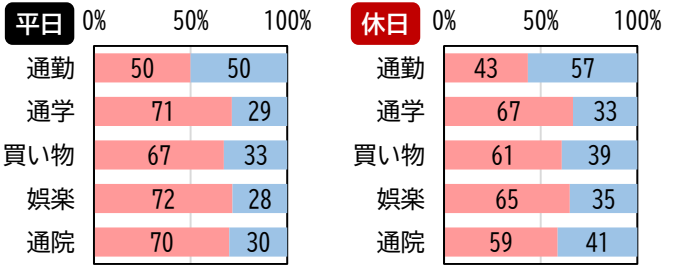
海津町居住者



平田町居住者



南濃町居住者

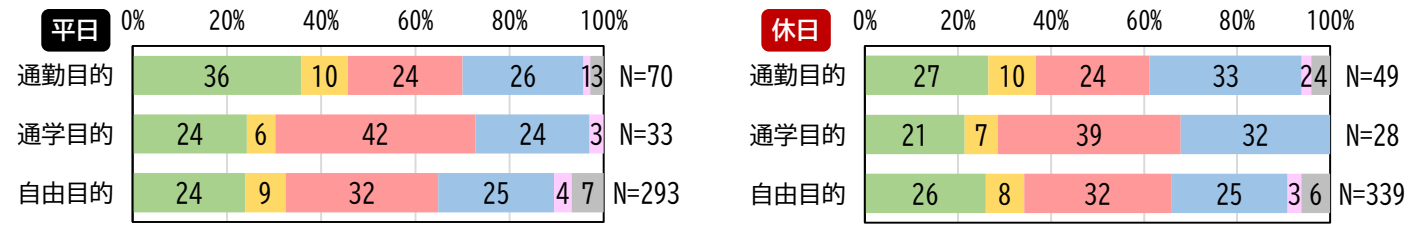


■ 利用する ■ 利用しない

(5) 現状の利用駅等（名古屋へ行く際に利用する駅または高速バス停）

- ・海津町・平田町居住者は、名鉄津島・尾西線の駅の利用が最も多く、海津町居住者は近鉄名古屋線、平田町居住者は名鉄羽島線やしみのライナーの利用もみられる。
- ・南濃町居住者は、養老鉄道の駅の利用が最も多く、通勤目的と自由目的では近鉄名古屋線の駅も利用されている。

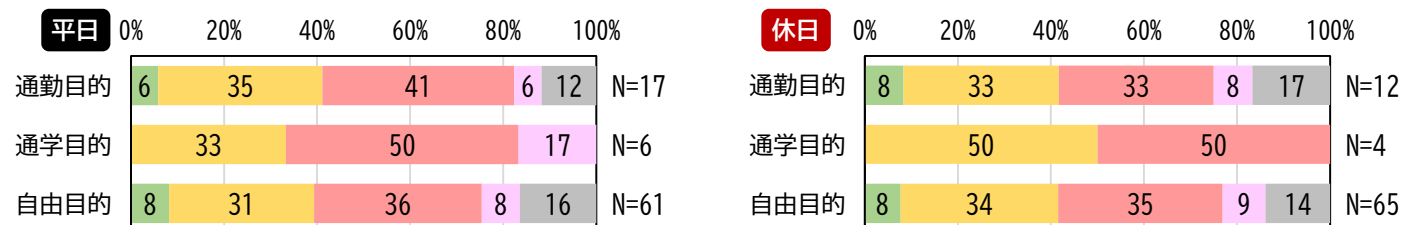
全体



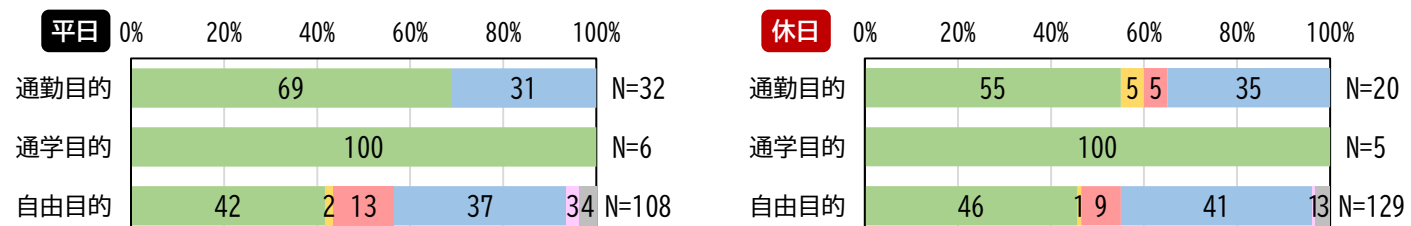
海津町居住者



平田町居住者



南濃町居住者



参考：個別駅回答者数

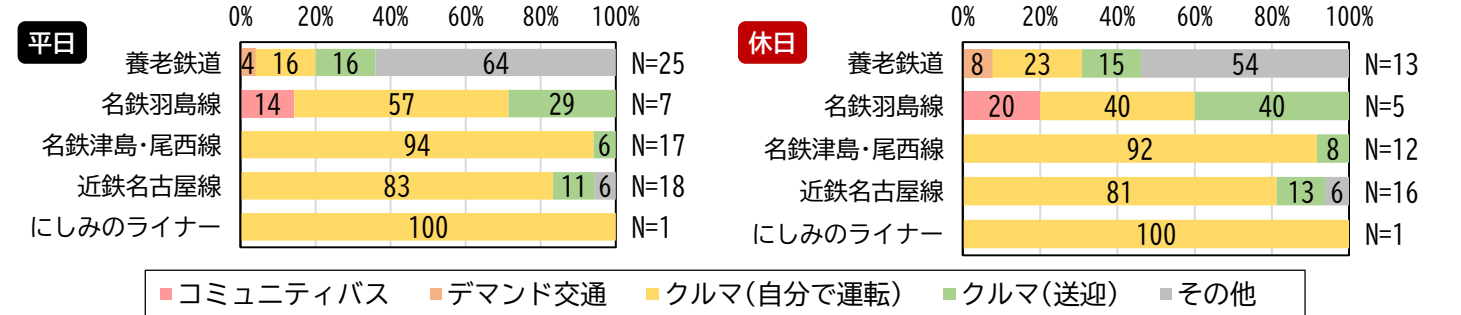
(単位：人)

平日	居住地	全体			海津町			平田町			南濃町		
		目的	通勤	通学	自由	通勤	通学	自由	通勤	通学	自由	通勤	通学
養老鉄道	美濃松山駅	10	3	12							9	3	9
	石津駅	5	2	17	1	1	8				4	1	9
	美濃山崎駅	2		4							2		4
	駒野駅	5	3	35		1	7	1			5	4	21
	美濃津屋駅	3		2							3		2
名鉄羽島線	新羽島駅	7	2	25	1		4	6	2	19			2
	勝幡駅	7	7	27	2	4	13	5	3	13			1
	藤浪駅	4	5	14	2	5	10	2		1			3
	津島駅	5	5	39	5		25			7			7
名鉄津島・尾西線	佐屋駅	1	2	14	1	2	11						3
	近鉄弥富駅	14	6	63	6	6	24				8		37
	近鉄長島駅	1	2	4	1	2	4						
	にしみのライナー	1	1	10		3	1	1	5				2
その他	5		27		6	2	11	2			8		
計	70	33	293	19	21	115	17	6	61	32	6	108	
休日	居住地	全体			海津町			平田町			南濃町		
	目的	通勤	通学	自由	通勤	通学	自由	通勤	通学	自由	通勤	通学	自由
	養老鉄道	4	3	14							4	3	9
	石津駅	3		22							7		13
	美濃山崎駅			6									6
	駒野駅	5	3	41	1	1	8	1			5	3	26
	美濃津屋駅	1		5							1		5
	名鉄羽島線	4	2	28			5	3	2	22	1		1
	勝幡駅	5	5	29	2	3	17	3	2	10			1
	藤浪駅	2	4	23	1	4	18	1		2			3
津島駅	3	3	39	3		25			10			4	
佐屋駅	2	2	13	1	2	10				1		3	
近鉄	12	7	76	6	7	24				6		51	
近鉄長島駅	2	2	6	2	2	6							
にしみのライナー	1		10		3	1			6			1	
その他	5		27		9	3			10	1		6	
計	49	28	339	16	19	132	12	4	65	20	5	129	

(6) 現状の利用駅等までの交通手段

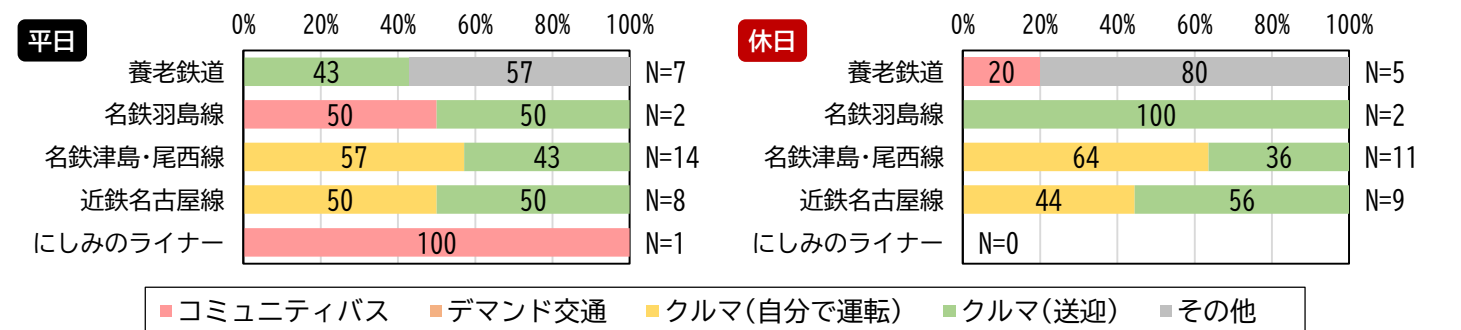
通勤目的

- ・市内を運行している養老鉄道の駅へは、その他(徒歩・自転車)が多く、駅周辺の方に利用されていると考えられる。
- ・市外の駅へは、クルマ(自分で運転)が多くを占め、名鉄羽島線(新羽島駅)へはクルマ(送迎)やバス利用もみられる。



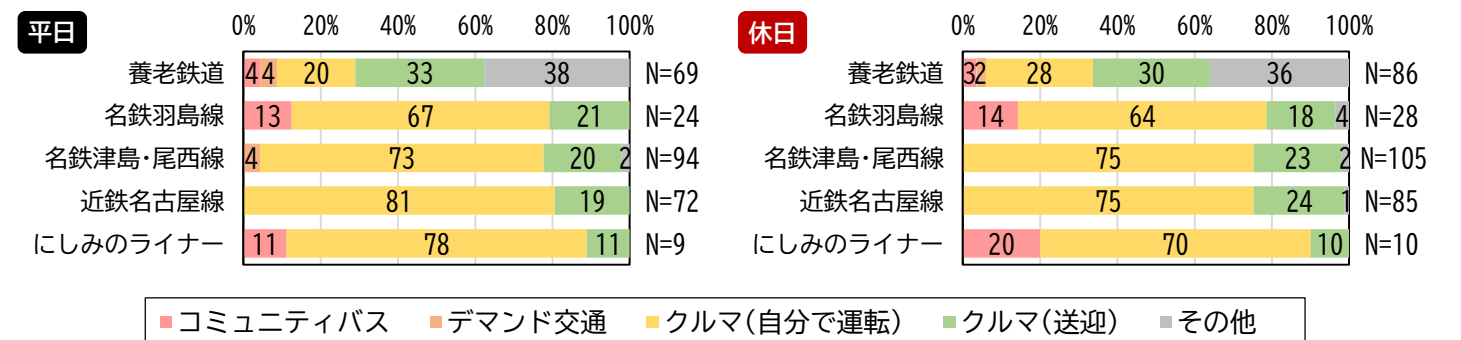
通学目的

- ・市内を運行している養老鉄道の駅へは、その他(徒歩・自転車)が多く、通勤目的と同様駅周辺の方に利用されていると考えられる。
- ・市外の駅へは、バス、クルマ(送迎)、クルマ(自分で運転)が利用されている。



自由目的(買い物・娯楽・通院等)

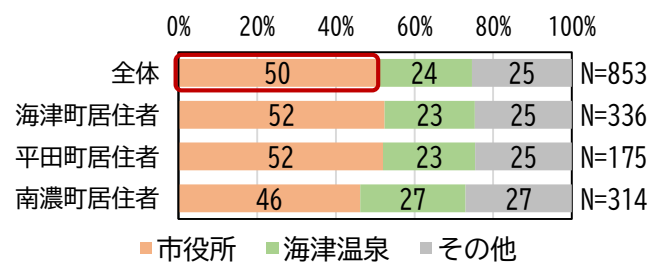
- ・市内を運行している養老鉄道の駅へは、通勤・通学目的と比較すると、その他(徒歩・自転車)の割合が低く、クルマ(自分で運転・送迎)の割合が高くなっている。
- ・市外の駅へは、クルマ(自分で運転)が多くを占め、通勤目的と同様の傾向がみられる。



問2：アクセスバスについて

(1) アクセスバスの希望出発地

・いずれの地区も、**市役所**からの出発を希望する人が多い。



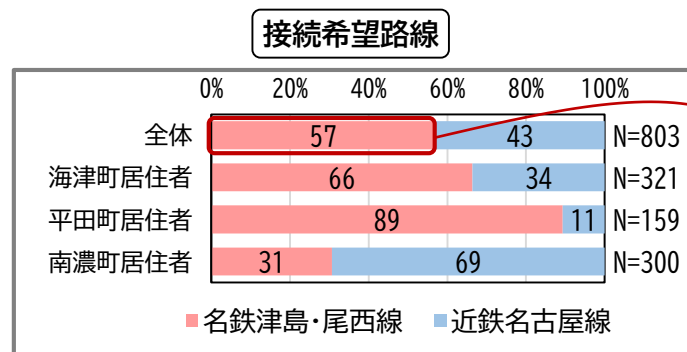
(2) アクセスバスの希望接続駅

接続希望路線

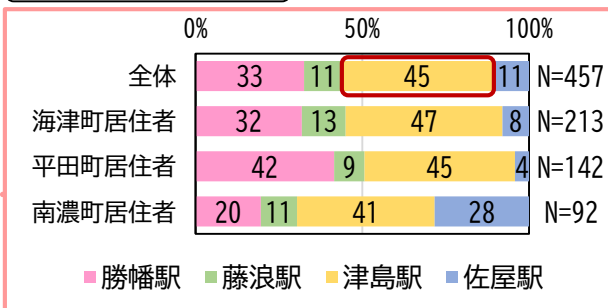
・養老鉄道が運行されていない海津町・平田町居住者は、**名鉄津島・尾西線**の駅への接続を希望する人が多い。
 ・養老鉄道が運行されている南濃町居住者は、近鉄名古屋線への接続の希望が多い。

具体的な接続希望駅

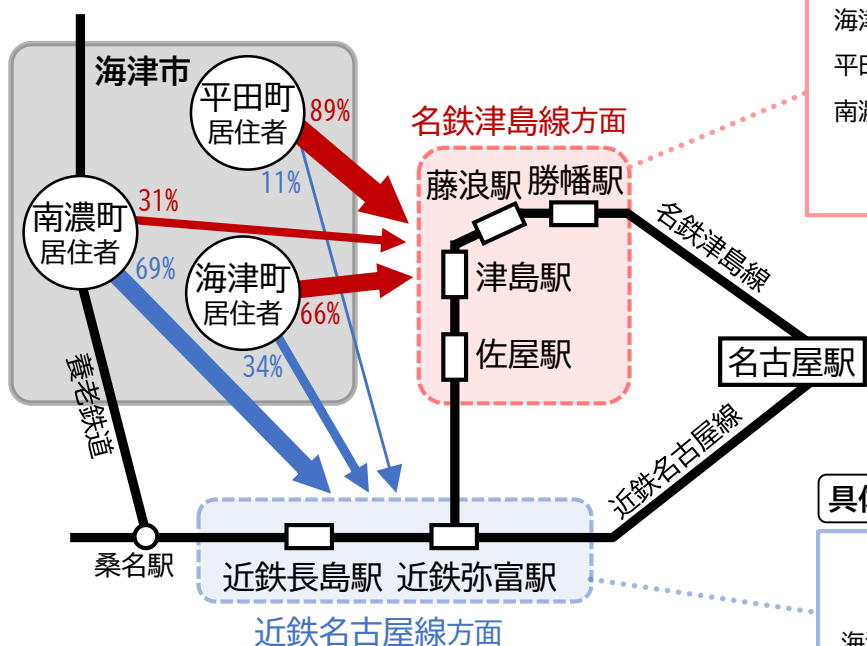
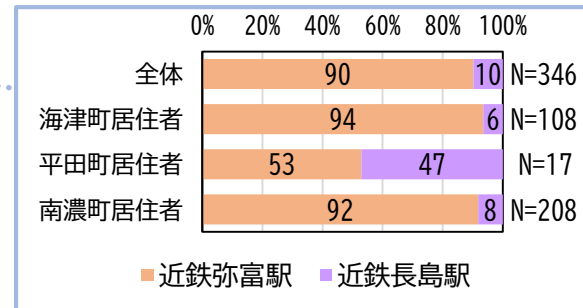
・「**名鉄津島線方面**」について具体的な駅をみると、いずれの地区も、「**津島駅**」の割合が最も多いことから、「**津島駅**」への**接続需要が高い**と考えられる。



具体的な接続希望駅 名鉄津島線方面

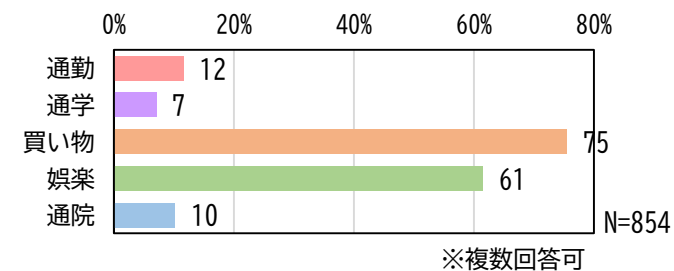


具体的な接続希望駅 近鉄名古屋線方面



(3) 利用したい目的

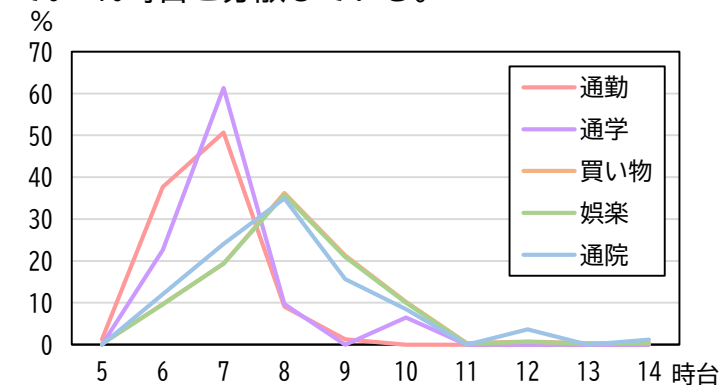
・いずれの地区でも、割合としては**買い物目的**と**娯楽目的**が多い。
 ・通勤・通学は、名古屋方面に勤務先や学校がある方に限定されるため割合としては低いものの、通勤が12%、通学が7%と一定の人数の利用意向がみられる。



(4) 利用したい時間帯

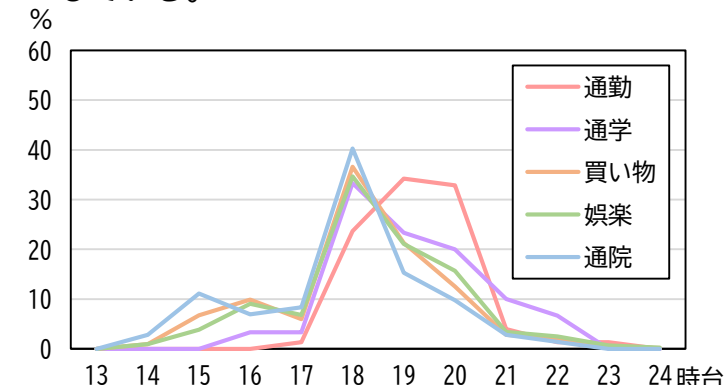
平日・行き

・通勤・通学は7時台がピークで6~8時台に集中、自由目的(買い物・娯楽・通院)は8時台がピークで6~10時台と分散している。



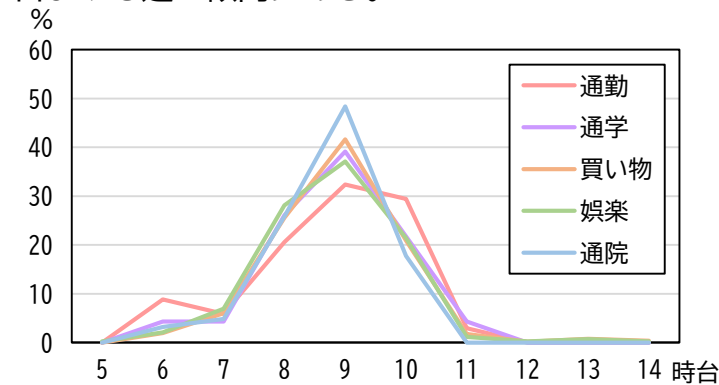
平日・帰り

・通勤目的は19~20時台、それ以外の目的は18時台がピークとなっており、18~20時台に集中している。



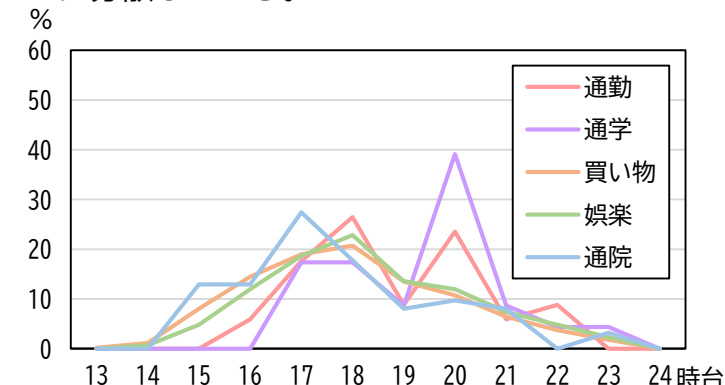
休日・行き

・各目的とも、9時台がピークとなっており、平日よりも遅い傾向にある。



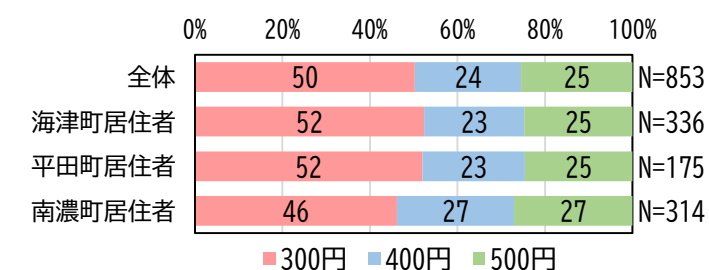
休日・帰り

・各目的とも、17~20時台にかけて広い時間帯に分散している。



(5) 利用してもよいと思う片道運賃

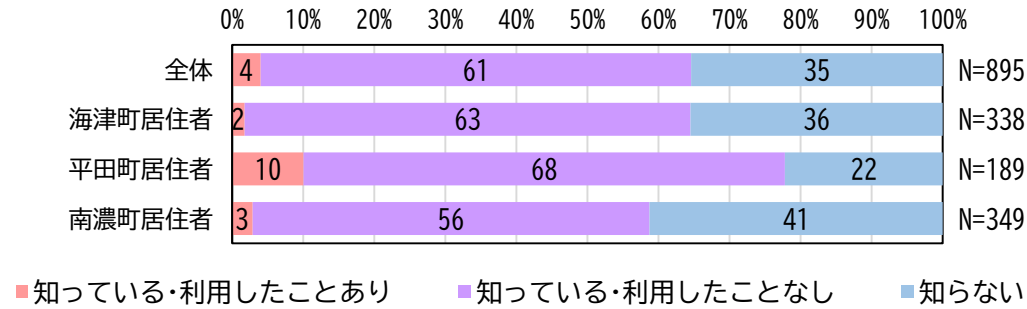
・いずれの地区でも、**300円**が約半数を占め、次いで**400円**と**500円**がほぼ同じ割合となっている。



問4：にしみのライナーについて

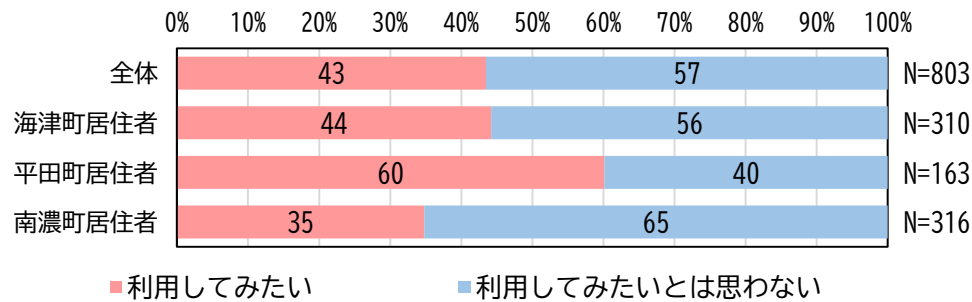
(1) にしみのライナーの認知状況・利用状況

- にしみのライナーが運行されていることを知っている方は、市全体で65%、運行エリアである平田町居住者で78%となっており、比較的多くの方に認知されている。
- にしみのライナーを利用したことがある方は、市全体で4%、平田町居住者は10%となっている。



(2) にしみのライナーの利用意向（利用したことのない方）

- 利用したことがない方のうち、市全体で43%、平田町居住者で60%の方が利用してみたいと回答しており、利用意向は比較的高くなっている。



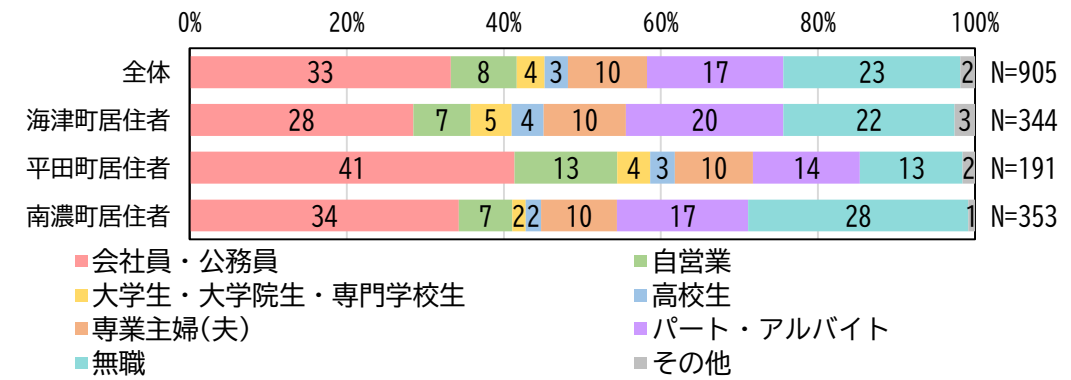
問5：回答者属性

(1) 居住地区・年齢

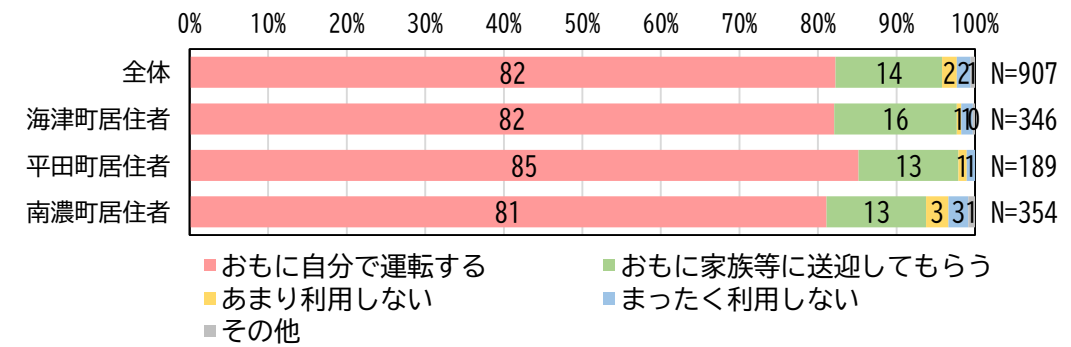
(単位：人)

居住地区	町名	年齢								無回答	合計
		15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上		
海津町	高須	10	14	7	22	27	36	44	8	2	170
	吉里	1	3	6	9	8	14	12	4	1	58
	東江		1		4	4	10	5	1		25
	大江	7	5	2	5	5	7	8	2		41
	西江	3	3	5	4	12	15	10	2		54
海津町計		21	26	20	44	56	82	79	17	3	348
平田町	今尾	8	12	13	13	27	26	22	2		123
	海西	2	4	6	11	14	21	5	5		68
	平田町計	10	16	19	24	41	47	27	7		191
南濃町	石津	5	7	18	27	27	30	45	12		171
	城山	3	9	10	17	22	35	26	8	2	132
	下多度	1	1	4	13	3	12	16	3		53
	南濃町計	9	17	32	57	52	77	87	23	2	356
無回答			1	2		3	3	8	2	21	40
合計		40	60	73	125	152	209	201	49	26	935

(2) 職業



(3) クルマの利用状況



名古屋方面へのアクセスバス運行経路の検討について

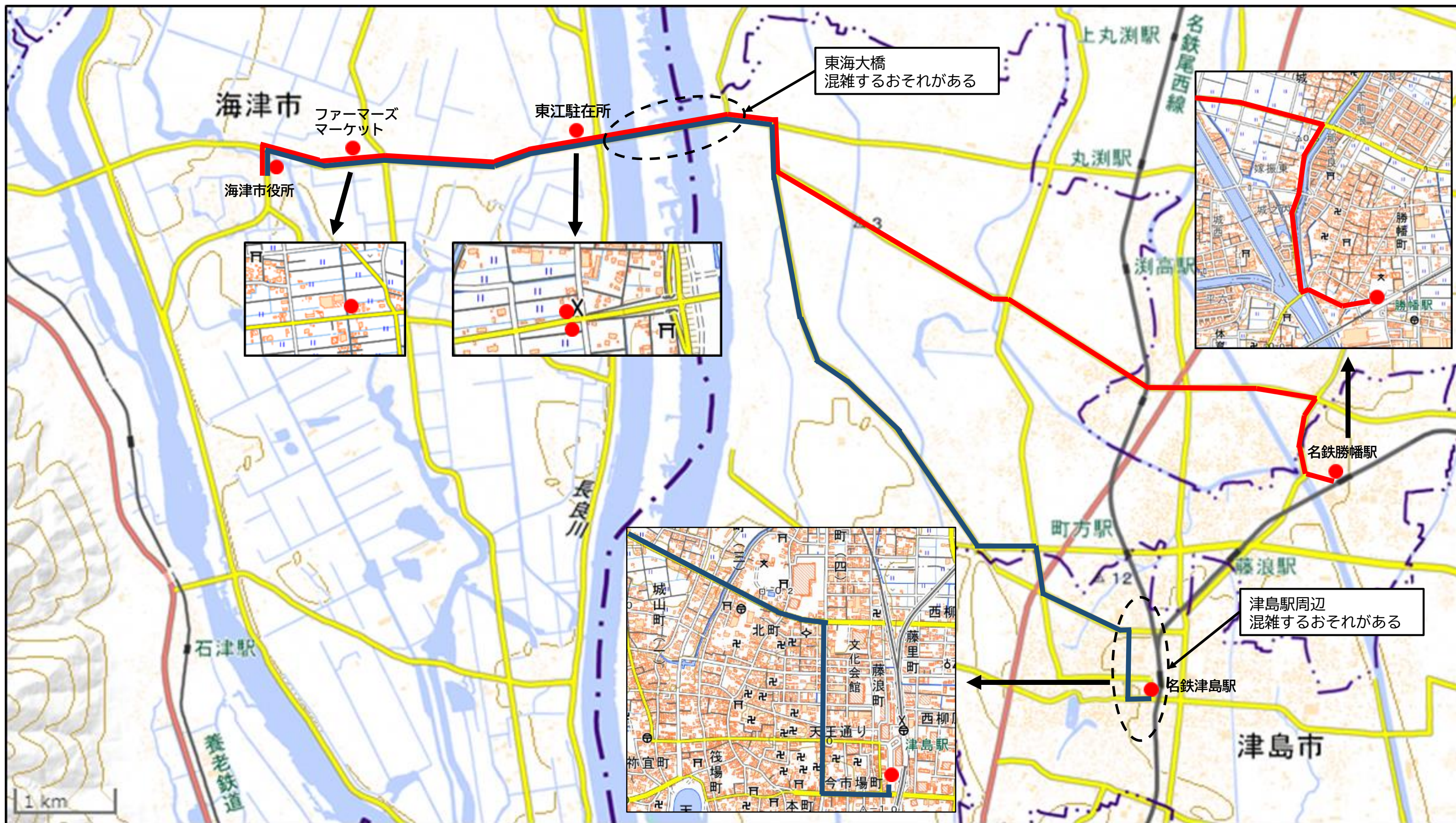
市民アンケートの調査結果を基に、名古屋方面のアクセスバス運行経路について以下のとおり設定する。

- アンケート結果からアクセスバスの出発地を海津市役所とする。
- アクセスバスの希望接続駅として回答が多かった「名鉄勝幡駅」「名鉄津島駅」「近鉄弥富駅」について運行路線を検討する。
- 「名鉄勝幡駅」「名鉄津島駅」への接続は、東海大橋を渡るルートで、「近鉄弥富駅」への接続は、立田大橋を渡るルートを設定する。

	接続駅までの距離	所要時間	鉄道機関	名古屋駅までの時間(鉄道)	名古屋駅までの運賃
市役所—名鉄勝幡駅	13.0km	26分	名鉄津島線	30分	360円
市役所—名鉄津島駅	13.6km	28分	名鉄津島線	34分	410円
市役所—近鉄弥富駅	17.5km	34分	近鉄名古屋線	16分	360円

※所要時間は、計測時の時間

※近鉄弥富駅から名古屋駅までの時間は急行を利用した場合の時間





ルート	接続駅	メリット	デメリット	運行ルートの渋滞状況
東海大橋ルート	名鉄勝幡駅	①海津地区（高須、吉里、東江）、平田地区の一部（高田、西島）の名古屋圏へのアクセス向上 ②市内区間（市役所―東江駐在所間）は、市内のコミュニティバスの新設路線として活用することができ、市内のアクセスも向上 ③名鉄津島線へ接続 ④愛西市、稲沢市コミュニティバスとの接続 ⑤津島駅より名古屋駅へ早く着くことができる（約5分） ⑥名古屋方面からの観光客の利用が見込める	①駅到着後の移動先の選択肢が津島駅より少ない	①東海大橋が混雑するおそれがある
	名鉄津島駅	①海津地区（高須、吉里、東江）、平田地区の一部（高田、西島）の名古屋圏へのアクセス向上 ②市内区間（市役所―東江駐在所間）は、市内のコミュニティバスの新設路線として活用することができ、市内のアクセスも向上 ③名鉄津島線・名鉄尾西線へ接続 ④名鉄バスとの接続（あま市・大治町・名古屋方面） ⑤津島市コミュニティバスとの接続 ⑥名古屋方面以外に一宮方面からの観光客の利用が見込める	①勝幡駅と比べ名古屋駅へ行くまでの時間が約5分ほど長くなり、運賃も50円高い	①東海大橋が混雑するおそれがある ②津島駅周辺が混雑するおそれがある
立田大橋ルート	近鉄弥富駅	①海津地区（高須、大江、西江）の名古屋圏へのアクセス向上 ②近鉄名古屋線へ接続 ③弥富市、木曽崎町コミュニティバスとの接続 ④名古屋方面からの観光客の利用が見込める	①路線構築により養老鉄道の利用者が減少する可能性がある ②コミュニティバス石津線の路線と重複 ③木曽三川公園のイベント（チューリップ祭り・イルミネーション）開催時に木曽三川公園付近で渋滞が発生し、ダイヤに大きな影響が生じる可能性がある	①長良川堤防（木曽三川公園付近）が混雑するおそれがある ②長良川大橋・立田大橋が渋滞するおそれがある ③弥富駅踏切周辺が混雑するおそれがある

名古屋圏アクセスバス運行計画方針について

- ・アクセスバスの運行ルートは、東海大橋を通るルートとする
- ・接続する駅は、市民が公共交通を利用して行ける場所の選択肢が広がり、名古屋方面以外にも一宮方面からの観光客の利用が見込める「名鉄津島駅」を接続先の第1候補とし、第2候補を「名鉄勝幡駅」とする